

九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)セミナーのご案内

九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)の福岡セミナーを以下のように開催します。
多数の皆様のご参加をお願い申し上げます。

- ◆日 時 / 2016年6月17日(金) 13:00~17:15
- ◆会 場 / 富士通九州システムズ 2F 大会議室(東比恵ビジネスセンターII)
<http://www.fujitsu.com/jp/group/kyushu/about/facilities/higashihie/>
- ◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会(KDK)
<http://kdk.firebird.jp/>
- ◆参加費 / 無料 ◆定員 / 96名 ◆受付開始 12時30分

《スケジュール》

第1部 13:00~15:20【司会:(未定)】

- 13:00~13:05 ◇開会挨拶 : KDK会長 佐賀大学 教授 萩原 世也
- 13:05~13:50 ◇特別講演1 : 熊本大学 機械システム工学科 教授 坂本 英俊 様
- 「デジタルエンジニアングを活用した”ものづくり”技術伝承」**
- 13:50~14:35 ◇特別講演2 : 株式会社富士通九州システムズ 部長 浜辺 智 様、 宮崎 洋平 様
- 「富士通九州システムズの提案する大規模並列シミュレーション支援サービス」**
- 14:35~15:00 ◇事例紹介1 : 福岡県工業技術センター 機械電子研究所 研究員 山本 圭一郎 様
- 「熱流体解析を活用した事例及び設備の紹介」**
- 15:00~15:25 ◇事例紹介2 : 北九州市環境エレクトロニクス研究所 研究員 葉山 裕 様
- 「FBGセンシングを使用した構造健全性モニタリングの性能評価」**

(休憩 15:25~15:35)

第2部 15:35~17:15【司会:(未定)】

- 15:35~16:00 ◇事例紹介3 : 株式会社電通国際情報サービス 佐野 太一 様
- 「非線形性/流体を考慮した「複合領域」機構解析のご紹介」**
- 16:00~16:25 ◇事例紹介4 : ダッソー・システムズ株式会社 岩本 康栄 様
- 「3D EXPERIENCE SIMULIA Solutions」**
- 16:25~16:50 ◇事例紹介5 : オートデスク株式会社 冠者 実 様
- 「The Future of Making Things」**
- 16:50~17:15 ◇事例紹介6 : エムエスシーソフトウェア株式会社 立石 源治 様
- 「下負荷面モデルによる非線形解析の紹介」**

懇親会 18:00~20:00 会費 4,000円

場所: 博多いねや Tel 050-5798-0200

<http://r.gnavi.co.jp/f169600/>

- ◆駐車場は準備しておりませんので、お車でお越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。
- ◆お申し込みはメールまたはFAXにてお願いします。
- ◆お問い合わせは九州デジタルエンジニアリング研究会 大木(NSプラント設計)まで
TEL 080-4104-6387 FAX 093-882-7655 E-mail : oki.tsutomu.8pz@eng.nssmc.com

〈申し込み締切り 6/10(金)〉 **「KDK 福岡セミナー」申し込み**

所 属 (会社名、学校名)	電話番号	
	E-mail	
氏 名	懇親会	出席 欠席

講演概要

◇特別講演1 熊本大学 機械システム工学科 教授 坂本 英俊 様

「デジタルエンジニアングを活用した”ものづくり”技術伝承」

【概要】

本講演では角島伝馬船の復元データ(設計部面・製作写真/動画)に基づき、その復元製作手順をCAD・映像・音声・文章などのマルチメディアを用いることにより、伝統技能の保存と継承を可能にする手法を提案する。CADデータには部品製作手順をprocess手順として埋め込み、それらを実際の製作組み立て手順に沿って展開できるデータベースを作成した。この作成したCADデータベースと製作手順に沿った写真・動画・3DデータをHTMLファイルに取り込んだマルチメディアデータベースを構築し、伝統技術の習得・再現への活用可能性について述べる。

◇特別講演2 株式会社富士通九州システムズ 部長 浜辺 智 様、宮崎 洋平様

「富士通九州システムズの提案する大規模並列シミュレーション支援サービス」

【概要】

スーパーコンピュータ「京」やPCクラスターのような大規模な並列計算機の性能を最大限に発揮するためには、並列計算専用ソフトウェアの開発やチューニングが必要不可欠です。当社は、長年にわたり大規模並列計算分野におけるハードウェアの設置や運用支援、ソフトウェア開発を行い、産業分野での利用促進、国内研究機関の研究開発に貢献して参りました。今回の講演では、これまでご提供してきた並列シミュレーション分野の事例と、今後、民間の産業分野にご提供する各種並列シミュレーション支援サービスについて紹介します。

◇事例紹介1 福岡県工業技術センター 機械電子研究所 研究員 山本 圭一朗 様

「熱流体解析を活用した事例及び設備の紹介」

【概要】

福岡県工業技術センター機械電子研究所では、CAEを活用した県内企業への技術支援に力を入れています。発表では、熱流体解析を活用した事例紹介と熱物性を測定する装置の紹介を行います。

◇事例紹介2 北九州市環境エレクトロニクス研究所 研究員 葉山 裕 様

「FBG センシングを使用した構造健全性モニタリングの性能評価」

【概要】

長期間使用が期待される構造物の耐久性、健全性を評価・保証する仕組みとして構造健全性モニタリング(Structural Health Monitoring)があります。本講演では連続分布測定、遠隔常時監視、多目的な応用性等の特長を持つ FBG センシングを使用した回転軸モニタリングについて、船舶の主機軸馬力測定や洋上風力発電の回転機構監視への適用にむけて性能を評価した例を紹介いたします。

◇事例紹介3 株式会社電通国際情報サービス 佐野 太一様

「非線形性/流体を考慮した「複合領域」機構解析のご紹介」

【概要】

CAEのトレンドとして、「複合領域」というキーワードがよく挙げられます。本セッションでは、機構解析を軸とした「複合領域」CAEを紹介します。機構解析は一般的に、機構部品を剛体と想定した運動方程式を解く計算手法ですが近年では、PCやソルバーの機能拡張により、機構部品の非線形性を考慮したり、流体の影響を考慮できる様になっています。このような「機構」⇔「非線形」、「機構」⇔「流体」の「複合領域」CAEを解析事例を交えて紹介します。

◇事例紹介4 ダッソー・システムズ株式会社 岩本康栄 様

「3D EXPERIENCE SIMULIA Solutions」

【概要】

ダッソー・システムズが提案する次世代の3DEXPERIENCEプラットフォームにおいて、Simulationにフォーカスした最新ソリューションを紹介します。

◇事例紹介5 オートデスク株式会社 冠者 実 様

「The Future of Making Things」

【概要】

オートデスクが提案するものづくりとシミュレーションの未来を紹介します。

◇事例紹介6 エムエスシーソフトウェア株式会社 立石源治 様

「下負荷面モデルによる非線形解析の紹介」

【概要】

九州大学名誉教授橋口公一先生により開発された下負荷面弾塑性構成式は、降伏局面の内部であっても塑性ひずみ速度が発生する定式化となっており、従来の弾塑性構成式では表現が困難であった降伏曲面内部での繰り返し負荷状態での塑性変形の増大などを表現する構成式です。本講演ではMarcプログラムに本構成式を導入した各種数値実験結果を紹介すると共に、本構成式の応用である下負荷摩擦モデルに関しても言及します。